

第2回日本整形外科看護研究会学術集会

2002年6月1日, 6月2日

(於; はまぎんホールヴィアマール)

6月1日

基調講演

「脊髄損傷者のセルフケア」

武田宜子 (横浜市立大学看護短期大学部)

一般演題

「整形外科疾患における術後遅延性低酸素血症の発生」

「道具を用いて大腿四等筋等尺性運動を効果的に行った一事例」

「人工骨頭置換術翌日歩行を継続して」

「巨大褥瘡の発生に対する社会的・精神的要因の関与について

・巨大褥瘡を形成し入院した脊損2事例から」

イブニングセッション

講演

「脊髄損傷患者の早期リハビリテーションとシーティング」

森山美知子 (広島大学医学部保健学科)

山崎泰宏 (アクセス・インターナショナル k・k)

6月2日

テーマ; 脊髄損傷患者の治療と看護

第一部;

講演

「脊髄損傷者の急性期治療」

植田尊善 (総合せき損センター)

「脊髄損傷患者の急性期看護」

宮路操代 (総合せき損センター)

第二部;

講演

「脊髄損傷患者の泌尿・生殖機能障害の治療」

牛山武久 (国立身体障害者リハビリテーションセンター病院)

「脊髄損傷患者の泌尿・生殖機能障害の看護」

道木恭子 (国立身体障害者リハビリテーションセンター病院)